

## 令和7年度学校評価策定に係る総括資料

自己評価の評価は、 A (できている) B (どちらかと言えばできている) C (どちらかと言えばできていない) D (できていない)  
 アンケートの評価は、 A (そう思う) B (どちらかと言えばそう思う) C (どちらかと言えばそう思わない) D (そう思わない)

数値は%、( )内は昨年度

領域	自己評価の評価規準	主な方策	自己評価	アンケート等対象者	参考とする教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容	A	B	C	D	昨年度との比較 (A+B)	
I 教育目標の具現化・円滑な学校運営	1 ■西小は、学校教育目標（素直で明るくかしこい西小っ子の育成）や目指す学校像（魅力ある 信頼される学校）の具現化に向かって、学校（学年・学級）運営や学習指導、その他の教育活動の工夫改善に取り組んでいる。	◆安易な従前主義を排し、小さなことでも課題解決と改善を図るための検討や見直し、工夫に、熱意・誠意・創意をもって、真摯に取り組む。  ・ポストコロナ禍における教育活動の進化と深化 ・学校における働き方改革の推進を踏まえた上での価値ある取組の精選、実施	A	職員	学校教育目標や目指す学校像を具現化するため、学校（学年・学級）運営や学習指導、その他の教育活動の工夫改善を意識して取り組んでいる。	66.7 (66.7)	33.3 (33.3)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	→	
				児童	自分は、よく考えよく学ぶ子、なかよく助け合う子、明るく健康な子のどれか一つ以上に近づいている。	60.7 (64.4)	33.5 (28.6)	4.4 (5.2)	1.4 (1.8)	A↓ B↑	
				保護者	子供は、よく考えよく学ぶ子、なかよく助け合う子、明るく健康な子のどれか一つ以上に近づいている。	45 (47.7)	51.2 (44.6)	2.9 (5.5)	0.9 (2.2)	B↑	
	2	■西小は、教職員それぞれが能力を発揮し各分掌（役割）や各学年が連携協力して質の高い学校づくりを目指すために行動している。	◆教職員それぞれがチームワーク行動を発揮して、組織力の充実を図る。  ・キャリア段階に応じたチームワーク行動の重点の実践 ・毎日のグループウェアでの指示伝達・連絡事項の確認、情報共有、共通行動 ・一部教科担任制の実施や深い学びを追究する教材研究、制作教材の共有 ・いじめ、問題行動等へのチームでの対応	A	職員	自己の職務の役割を認識し、チームワーク行動を発揮しながら、学校運営に参画している。	72.2 (74.1)	27.8 (25.9)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	
					児童						
					保護者						
	3	■西小は、教職員が児童のよい点を認め、ほめるとともに、いけないことは毅然と叱り、一人一人を伸ばすことを念頭に教育にあたっている。	◆教職員が連携して、児童一人一人のよい点を見つけ、ほめて伸ばす教育に取り組む他自己有用感の醸成と生徒指導・教育相談を充実する。  ・学級担任と教科担任、養護教諭の連携 ・複数教員の協力体制による指導の実施 ・学級活動等における称賛場面の設定	B	職員	児童のよい点を積極的に認め、称賛し、必要な時には叱り、一人一人の児童を伸ばすことを念頭に教育にあたっている。	72.2 (85.2)	27.8 (14.8)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	A↓
					児童	先生は、よいことはほめ、いけないことは叱ってくれる。	86.1 (85.7)	11.6 (12.3)	1.8 (1.8)	0.5 (0.2)	→
					保護者	先生は、よいことを認めたり、ほめたり、いけないことを叱ったりして指導してくれていると感じる。	55.9 (57.1)	37.5 (36.6)	4.5 (5.3)	2.1 (1)	A↓ D↑

領域	自己評価の評価規準	主な方策	自己評価	アンケート等対象者	参考とする教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容	A	B	C	D		
II 学習指導・学力向上	4	■西小は、教職員研修を積極的に推進し、教職員の資質を高め、指導力及び業務遂行力の向上を図っている。	B	職員	主体的・意欲的に研鑽し、教育実践や業務の遂行に生かしている。	50 (55.6)	50 (44.4)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	A↓	
				児童	先生との授業や学校生活は、楽しい。	73.4 (73)	22.9 (20.4)	2.5 (4.4)	1.2 (2.2)	→	
				保護者	子供は、先生との授業（学校生活）が楽しいと感じている。	48.1 (44.8)	39.4 (43.4)	9.4 (9.4)	3.1 (2.4)	A↑	
	5	■西小は、教育課程や指導方法を工夫改善し、児童の主体的に学習に取り組む態度を高め、学力の定着に努めている。	◆創意工夫を生かした教育指導の実施、主体的・対話的で深い学びに通じる実践、個別最適な学び・協働的な学び、基礎学力、学ぶための5つの力の育成に取り組む。  ・学力向上プランの策定と実行 ・ユニバーサルデザインへの配慮 ・家庭学習習慣、非認知能力の育成 ・自己有用感を得られる場づくり ・認めてほめて伸ばす教育の実践	B	職員	教員として、教材研究や指導方法の工夫改善に取り組み、児童にわかる授業を提供し、学力の定着に努めている。	55.6 (66.7)	44.4 (33.3)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	A↓ B↑
					児童	先生の授業は、わかりやすい。	77.4 (77.7)	20.1 (18.5)	2.1 (3.2)	0.4 (0.6)	→
					保護者	先生は、教材や教え方を工夫して、わかりやすい授業を行っている。	38 (45.8)	57.1 (48.2)	4 (5.5)	0.9 (0.5)	A↓ B↑
	6	■西小は、コンピュータを活用する授業を推進し、充実させている。	◆「あげお 学びのイノベーション推進プラン」に基づくICT端末の日常的活用を具体化する。  ・学校ICT支援員との連携 ・プログラミング教育の着実な実践 ・「chromebook」の校内外での活用 ・「Google Workspace」「まなびポケット」の利用 ・情報モラル教育の充実	A	職員	授業等でICT機器を日常的に活用するとともに、児童にICT端末を積極的に利用させている。	50 (40.7)	50 (51.9)	0.0 (7.4)	0.0 (0.0)	A↑
					児童	パソコン（ICT端末）を使って学ぶ授業は、楽しい。	85 (83.3)	12.7 (12.5)	1.8 (2.8)	0.5 (1.4)	→
					保護者	子供は、調べたり、まとめたり、表現したりするために、パソコンやタブレット、スマートフォンを操作することができる。 ※ 学校の授業でもご家庭での利用でも構いません。	51.9 (53.7)	30.9 (29.4)	11.6 (13.0)	5.6 (3.9)	A↓ B↑
	7	■西小は、英語でも、楽しくコミュニケーションを図れる児童が育つように、外国語教育を充実させている。	◆全担任が、ALTとのコミュニケーションを図り、レッスンプランを計画し、授業を進行できるように実践を積む。  ・ALTとのコミュニケーションや連携 ・担任が主体となった授業の構成 ・レッスンプランに基づく授業の展開 ・ALTと児童のふれあいの場づくり	B	職員	外国語（英語活動、外国語活動）の指導において、T1として、主体的に授業を進行することができる。	55.6 (33.3)	44.4 (48.2)	0.0 (7.4)	0.0 (11.1)	A↑
					児童	英語の学習や、英語を話したり、聞いたりすることは、楽しい。	58.7 (57.0)	29.8 (32.4)	7.8 (6)	3.7 (4.6)	A・C↑ B↓
					保護者	子供は、英語に関わる学習などに関心を高めている。	29.5 (32.3)	45.8 (45.1)	21.2 (17.1)	3.5 (5.5)	A↓ C↑
8	■西小は、読書に親しめる児童が育つように読書活動を推進し、充実させている。	◆学校図書館を活用する読書活動を充実させる。  ・読み聞かせ ・学校図書館の環境整備 ・図書に関わるイベントの実施と貸出の促進 ・週末読書の推奨 ・アッピースマイル学校図書館支援員、学校応援団（読み聞かせ隊）との連携	B	職員	読書活動が充実するように取り組んでいる。	38.9 (25.9)	38.9 (59.3)	16.7 (11.1)	5.5 (3.7)	A↑	
				児童	すすんで読書をしている。	39.7 (44.3)	27.9 (31.6)	21.5 (18.1)	10.9 (6)	A↓ C↑	
				保護者	子供が、本を借りたり、読書をしたりする姿が見られる。	23.1 (29.9)	26.2 (27.9)	34.2 (25.8)	16.5 (16.4)	A↓ C↑	

領域	自己評価の評価規準	主な方策	自己評価	アンケート等対象者	参考とする教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容	A	B	C	D	
Ⅲ 生徒指導・心を育む教育	■西小は、しっかりあいさつができる児童が育つように指導を充実させている。	◆職員が率先垂範するとともに、校長からの合言葉「5つのしっかり」、3内容6項目12の規律ある態度達成目標を意識する。  ・日々の学級指導 ・校長講話、朝会等での指導 ・保護者への啓発 ・児童が主体となった活動	B	職員	あいさつを率先垂範し、あいさつをする心が育つように、繰り返し指導に取り組んでいる。	66.7 (74.1)	33.3 (25.9)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	A↓
				児童	先生や友だち、家族、地域の方にしっかりあいさつができるようになってきた。	69 (68)	25.6 (27.4)	4.9 (2.8)	0.5 (1.8)	C↑
				保護者	子供は、家族に「おはよう」「行ってきます」「ありがとう」などの必要なあいさつができる。	58.7 (60.7)	34.2 (33)	6.6 (5.6)	0.5 (0.7)	→
	■西小は、正しい言葉をつかう心が育つように指導を充実させている。	◆場をわかまえたり、呼び捨てなど心を刺すような言い方ではなく、おだやかな、優しい言葉遣いで学習や生活ができるように指導する。  ・日常指導 ・授業での実践 ・道徳科 ・学級指導 ・ほめる教育の推進 ・公的な場では「さん」づけを徹底	B	職員	自らの言葉遣いを正し、人権に配慮した正しい言葉をつかう心が育つように、繰り返し指導に取り組んでいる。	50 (59.3)	50 (37)	0.0 (3.7)	0.0 (0.0)	A↓
				児童	「〇〇さん」づけなど、乱暴でなく、おだやかで、優しい気持ちが伝わる言葉をつかえるようになってきた。	65.5 (64.4)	28.6 (28.4)	4.1 (6)	1.8 (1.2)	→
				保護者	子供は、おだやかで、やさしい気持ちが伝わる言葉をつかうなど、正しい言葉をつかう心が育ってきた。	27.4 (27.5)	50.9 (51.6)	20.3 (17.8)	1.4 (3.1)	→
	■西小は、きれいな学校にする心が育つように指導を充実させている。	◆集中して、清掃や美化活動に取り組めるように清掃時間の指導にあたる。  ・日常の巡回指導 ・振り返りの実施 ・師弟同行 ・放送による啓発 ・無言清掃へのチャレンジ	B	職員	児童とともに清掃に取り組むなど、きれいな学校にする心が育つように、繰り返し指導に取り組んでいる。	61.1 (51.9)	38.9 (48.1)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	A↑ B↓
				児童	むだな話をしないで、きれいな学校にするために、そうじに取り組んでいる。	58.7 (60.2)	32.6 (33.4)	7.1 (5)	1.6 (1.4)	A↓ C↑
				保護者						
	■西小は、新規の長期欠席児童を出さないようにするための対応に、取り組んでいる。	◆誰一人取り残すことのない、居場所のある温かい学級づくりに取り組む。  ・いじめ、不登校対策支援チームでの対応 ・欠席時の適切な対応 ・特別支援教育的な配慮 ・S C、さわやか相談室相談員や関係機関との相談、連携 ・自己有用感の醸成 ・サポートルーム、サポート体制の整備	B	職員	一人一人に居場所のある温かい学級経営、学級づくりに努めている。	66.7 (77.8)	33.3 (18.5)	0.0 (3.7)	0.0 (0.0)	A↓
				児童	学級の中で、誰とでも仲よくできるように行動している。	64.4 (64.2)	30.3 (28.2)	3.7 (6.2)	1.6 (1.4)	→
				保護者						

領域	自己評価の評価規準	主な方策	自己評価	アンケート等対象者	参考とする教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容	A	B	C	D	
IV 健康・安全・体力向上	13 ■西小は、保健、歯科保健、体づくりなどの健康に関する教育を充実させている。	◆性に関する指導、感染症の防止、むし歯予防、体力向上に関わる児童の意識とスキルを高められるよう指導を充実する。  ・生命の安全教育の具体化 ・保健学習 ・歯みがきタイムの実施 ・学校保健委員会の開催 ・学校医等との連携 ・体育朝会、体育授業の工夫	A	職員	感染症やむし歯予防、体力の向上など、健康づくりに関する指導や取組が充実するように実践している。	66.7 (59.3)	33.3 (37)	0.0 (3.7)	(0.0)	A↑
				児童	感染症の予防（手洗い・うがいなど）や歯みがき、外遊びなど、健康づくりの取組をしっかりと行っている。	72.7 (72.5)	22.7 (24.3)	3.9 (2.6)	0.7 (0.6)	→
				保護者	学校は、生命の安全教育や感染症の予防（手洗い・うがいなど）、歯みがき、運動の機会の確保など健康づくりの取組をしっかりと行っている。	41.3 (38.3)	52.6 (54.7)	4.5 (5.8)	1.6 (1.2)	A↑
	14 ■西小は、生活安全・交通安全・災害安全に係る取組を充実させている。	◆けがや交通事故の防止、防災・防犯に関わる児童の意識とスキルを高め、指導を充実する。  ・安全学習 ・安全点検 ・通学路点検 ・避難訓練、防災訓練、消防訓練 ・不審者侵入への対応、訓練 ・心肺蘇生法体験学習 ・交通安全教室	B	職員	けがや交通事故の防止、防災など、安全に関する指導や取組が充実するように実践している。	55.6 (77.8)	44.4 (18.5)	0.0 (3.7)	0.0 (0.0)	A↓ B↑
				児童	けがや交通事故、地震、火災などから身を守るように、安全な生活に気を付けている。	80.2 (81.5)	16.8 (16.3)	2.6 (1.8)	0.4 (0.4)	→
				保護者	学校は、けがの防止、交通事故の防止、防災に関わる指導や取組をしっかりと行っている。	38.9 (36.6)	55.4 (57.1)	5 (5.8)	0.7 (0.5)	→
	15 ■西小は、食に関する指導を充実させ、食物アレルギーによる事故防止にも丁寧に対応している。	◆バランスのとれた食事の大切さを理解させ実践できるようにする指導を充実するとともに、食物アレルギーによる事故防止の取組を徹底する。  ・アレルギー対応マニュアルの実践 ・アレルギー対応児童の保護者面談 ・家庭科、食育に係る指導の充実 ・早寝 早起き 朝ご飯の啓発 ・ホームページでの給食情報の提供	B	職員	食に関する指導の充実や食物アレルギーによる事故を未然に防ぐ取組が徹底するように実践している。	77.8 (77.8)	22.2 (22.2)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	→
				児童	給食では、一人分の分量を残さず（体調不良の日、食べてはいけないものは除く）食べるように努力している。	74.1 (74.9)	21.2 (20.5)	2.8 (2.6)	1.9 (2)	→
				保護者	学校は、食に関する指導を行い、食物アレルギーへの対応にも丁寧に取り組んでいる。	41.7 (44.8)	54.7 (49.7)	2.4 (4.8)	1.2 (0.7)	→

領域	自己評価の評価規準	主な方策	自己評価	アンケート等対象者	参考とする教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容	A	B	C	D		
V 教育環境の整備	16 ■西小は、安全・衛生・美化の観点から施設や校舎内外を整頓し、整備を行っている。	◆児童が安心して学べる安全で清潔で潤いのある教育環境の点検と整備に取り組む。  ・月例安全点検及び臨時点検、点検結果への対応 ・小破修繕の実施 ・花壇の整備 ・市教育委員会と学校応援団、PTA（保護者）との連携	B	職員	児童が安心して学べる安全で清潔で潤いのある教育環境の点検と整備に取り組んでいる。	55.6 (74.1)	44.4 (25.9)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	A↓ B↑	
				児童	きれいな学校にするため、そうじや整理整頓をがんばっている。	60.8 (65.6)	32.5 (27)	4.8 (6)	1.9 (1.4)	A↓ B↑	
				保護者	学校は、安全・衛生・美化の観点から施設・校舎内外の整頓・整備に努めている。	33.7 (33.3)	57.1 (56.6)	7.1 (9.1)	2.1 (1)	→	
	17 ■西小は、教室や廊下などに適切な掲示を行い、教育環境を整備している。	◆季節や行事、学習内容・指導内容に合わせた作品の展示や掲示物の作成に取り組む。  ・彩りや構成の考慮 ・あるべき所に必要な掲示 ・ユニバーサルデザインの考慮 ・児童作品の適切な取り扱い	A	職員	適宜、教室や廊下などに適切な展示・掲示を行い、学習環境を整える実践に取り組んでいる。	70.4 (70.4)	29.6 (29.6)	0.0 (0.0)	0.0 (0.0)	→	
				児童	学校には、いろいろな作品の展示やためになる掲示物がたくさんある。	79.2 (75.9)	19 (20.9)	1.4 (2.4)	0.4 (0.8)	A微増	
				保護者	学校は、教室や廊下などに適切な掲示を行い、教育環境を整備している。	46.5 (46.5)	50.7 (50.9)	1.9 (2.4)	0.9 (0.2)	→	
領域	自己評価の評価規準	主な方策	自己評価	アンケート等対象者	参考とする教職員自己評価及び児童・保護者アンケートの設問内容	A	B	C	D		
VI 保護者・地域・関係機関との連携	18 ■西小は、学校の方針や取組、児童の様子などが伝わるように、積極的に保護者や地域に情報を提供している。	◆学校の方針や取組、教育活動の様子などが伝わるようにホームページや便り、学校配信メール（さくら連絡網）等とおして、保護者や地域へ情報を発信する。  ・ホームページの更新 ・学校便りの充実 ・学校配信メールの活用	B	職員	(学校は) コミュニティ・スクールとして、保護者や地域、学校応援団 (PTA・おやじの会を含む) の協力を得て、学校運営や教育活動に取り組んでいる。	38.8 (48.1)	50 (48.1)	5.6 (3.8)	5.6 (0.0)	A↓	
				児童							
				保護者	学校は、ホームページや便り、学校配信メールなどで、学校の方針や教育活動の様子などを積極的に保護者や地域に提供している。	48.8 (51.6)	46.2 (41)	4.3 (7.0)	0.7 (0.4)	A↓ B↑	
	19 ■西小は、コミュニティ・スクールとして学校応援団 (PTA・保護者や地域住民関係団体等) の協力を生かして、学校運営や教育活動を充実させている。	◆保護者・地域の協力を仰ぎながら、児童の登下校の安全確保や学習活動の充実、教育環境の整備に取り組む。  ・学校運営協議会での熟議 ・PTA (おやじの会を含む)、学校応援団等との連携 ・出前授業、ゲストティーチャーの活用	B	職員	コミュニティ・スクールとして、保護者や地域、学校応援団 (PTA・おやじの会を含む) 等の協力を得て、学校運営や教育活動に取り組んでいる。	38.8 (29.6)	50 (63)	5.6 (7.4)	5.6 (0.0)	A↑	
				児童							
				保護者	学校は、コミュニティ・スクールとして、保護者や地域、学校応援団 (PTA・おやじの会を含む) 等の協力を得て、学校運営や教育活動を充実させている。	38.2 (24.1)	55.7 (62.9)	5.6 (11.3)	0.5 (1.7)	A↑	
	20 ■西小は、幼稚園及び保育所 (園) 並びに中学校、地域との連携を図る教育活動を推進している。	◆幼保小連携、小中一貫教育の推進など、関係学校等と一体となった教育活動の推進に取り組む。  ・幼児児童生徒との交流 ・授業見学、合同研修等小中教職員間の交流 ・中学校の定期考査にあわせた家庭学習強化週間の実施	B	職員	(学校は) 異校種の教職員との交流のほか、幼児または生徒、地域の方 (企業・団体を含む) と児童が交流するなどの教育活動に取り組んでいる。	38.9 (25.9)	44.4 (59.3)	16.7 (14.8)	0.0 (0.0)	A↑	
				児童							
				保護者	学校は、幼稚園、保育所 (園)、中学校、地域などと連携を図る教育活動を推進している。	22.2 (23.6)	62.4 (56.2)	13.7 (17.3)	1.7 (2.9)	B↑	